

◇第二分科会◇

子供の疑問を引き出し、問いづくりを大切にした授業づくり

～心と体の健康について、課題を見付け、毎日健康で過ごすための方法を考える～



川崎市立小学校体育研究会

川崎市立東小倉小学校

教諭 内田 達也

研究の概要

1. 小学校体育研究会研究テーマとそれをもとにした支部のテーマ

研究領域

保健	中学年	健康な生活
「体と心を育てる体育学習 めあて学習の充実によって、運動の楽しさを味わえる体育学習をめざして」 ～「気付き・考え・活動する」を通して、誰もが運動の楽しさを味わえる授業づくり～		

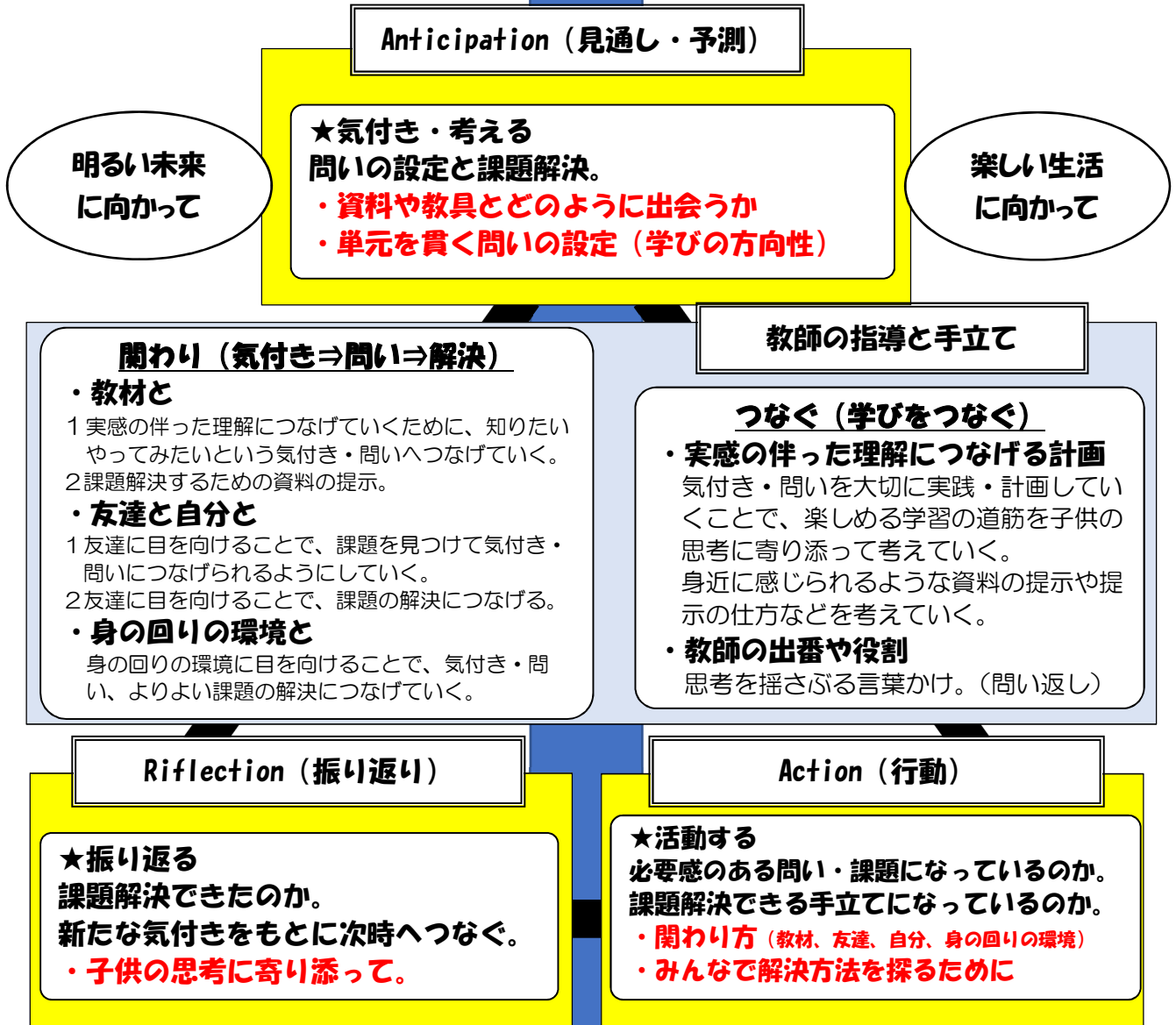
研究テーマと研究の視点

幸支部が考える保健の楽しさ
『心と体の健康について知り、課題を見付け、毎日健康で過ごすための方法を考えること。』

めざす子どもの姿
心と体の健康について、課題を見付け、
毎日健康で過ごすための方法を考え、学校生活を楽しむ姿。

POINT ☆ **実感の伴った理解** **主体的** **対話的** **深い学び**

AAR サイクルを通して



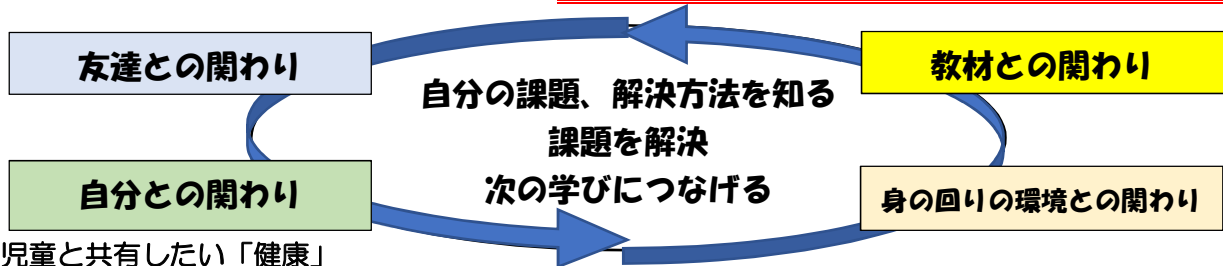
2. 実践報告

☆はじめるにあたっての共通理解と方向性

・実感の伴った理解の捉え

身近な生活と結びつけて、自己を振り返り、「知りたい、やってみよう」などの思いを引き出し、

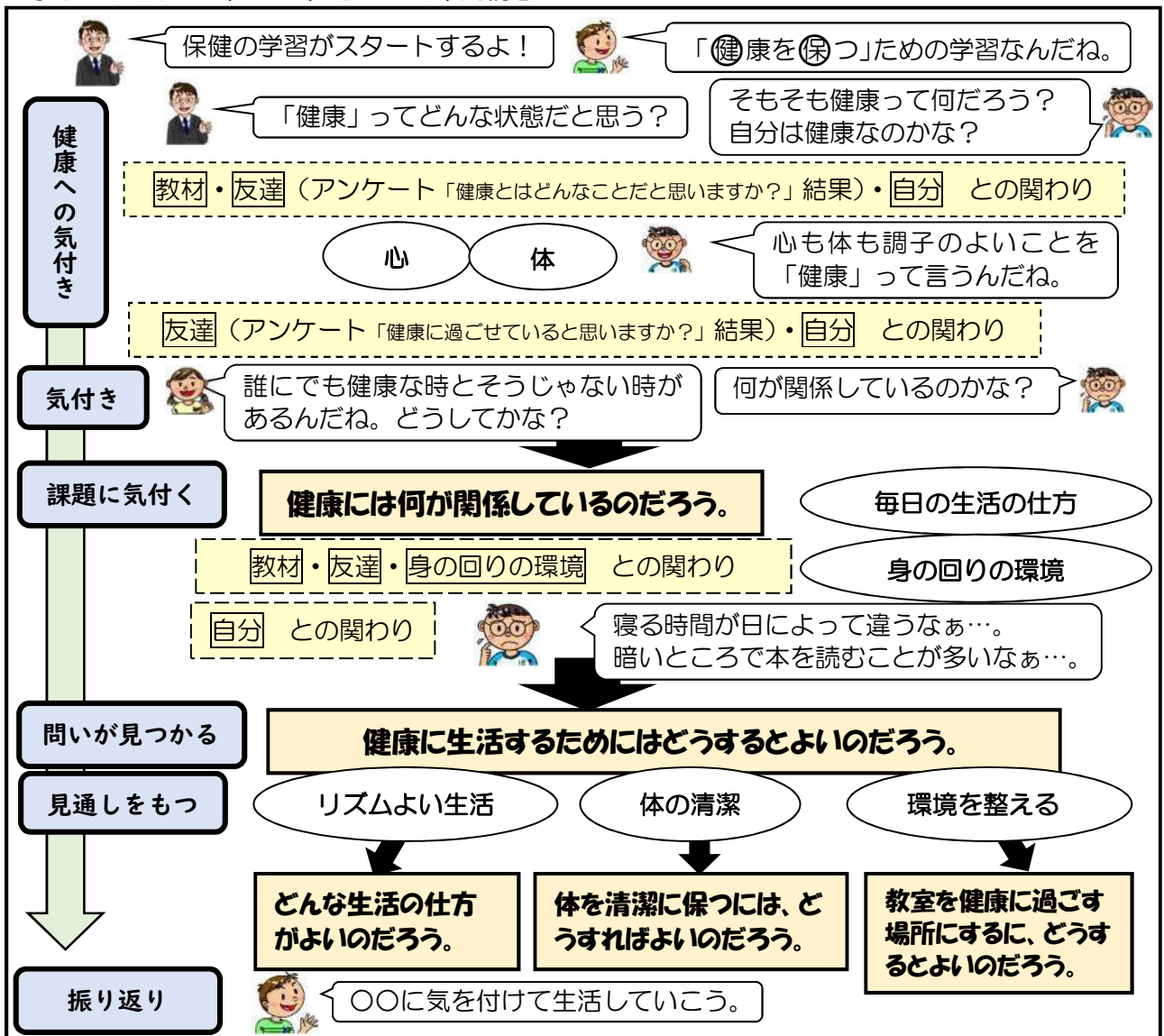
気付きや問いを大切に、子供達が自ら課題解決をする姿



・児童と共有したい「健康」

教師の言葉で	児童の言葉で
心の調子が良いこと ストレスがない ストレスをためない	<ul style="list-style-type: none"> ・元気である ・力がみなぎる ・やる気出る ・気分がいい ・いやなことがあっても頑張れる ・集中できる ・友達をはげますことができる ・ストレスがない
体の調子が良い 学校での活動にすべて参加できる	<ul style="list-style-type: none"> ・風邪をひいていない ・けがをしていない ・痛いところがない ・元気に体を動かせる

・学びのサイクル（AAR）をえがく単元構想



☆手立てと振り返り

・手立て1 関わりについて探る


・手立て2 実感の伴った理解につなげる計画

●気づき（課題意識・問いの設定・課題解決）


●子供の思考に寄り添った計画



⇒1 時間目 気づき⇒課題⇒課題解決⇒問い⇒課題

関わる 先生の体験談 アンケート結果から 自分 友達 身の回りの環境に目を向ける


気づき  健康って、心も関係するのかな？環境も？

関わる そもそも健康とは？健康なことでどんな良さにつながるの？ 自分 友達 教材

 夢や希望を実現するために必要なんだね！

 明るい未来を作っていけるんだね！ 


健康ってすごく大切なんだね！大切なことは分かったけど、健康にはどのようなことが関係しているのだろう？





気づき・課題設定 健康には何が関係しているのだろう？


関わる グループで、健康に過ごすことができている子を資料から探す。 自分 友達 教材


課題解決


 運動をしているよ！

 換気をしているよ！

 手洗いをしているよ！

 なんでそれが健康と関係していると思ったの？

 だって、手にはバイキンがいろいろとついていて聞いてきたことあるよ！


気づき  健康にはいろいろなことが関係しているみたい！どうしたらいいのかな？

単元を貫く問い 健康に生活するためにはどのようにするとよいのだろう？


課題設定

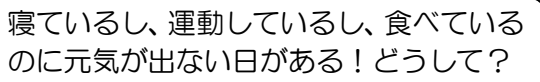
- ①どんな生活の仕方がよいのだろう。
- ②体の清潔を保つためには、どのようにするとよいのだろう。
- ③教室を健康に過ごす場所にするために、どうするとよいのだろう。

⇒2 時間目 問い⇒課題解決⇒気づき

問い 健康に生活するためにはどのようにするとよいのだろう？ 

関わる アンケート 自分 友達 教材


 どんな生活の仕方がいいのかな？

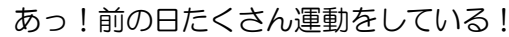
 寝ているし、運動しているし、食べているのに元気が出ない日がある！どうして？


課題 ①どんな生活の仕方がよいのだろう。


関わる 1日の生活の様子を比べる。 自分 友達 教材

課題解決

 ○○さんは早寝早起きをしているよ！

 あっ！前の日たくさん運動をしている！


 規則正しいリズムのある生活が大切なんだと思う！

 運動ができていないから、お腹が空かないんだ！それぞれ関わっているぞ！

気づき 規則正しいリズムのある生活を続けることが大切なことに気づき、理解する。

関わる 規則正しいリズムのある生活について振り返る。

自分 友達 どうしてそれが健康とつながるのかな？




名前	起床時間	朝食	運動	睡眠時間
山田 太郎	7:00	食べる	散歩	9:00
佐藤 花子	7:30	食べる	運動	9:30
鈴木 健太	8:00	食べる	運動	10:00


⇒3時間目 問い⇒課題解決⇒気付き


問い **健康に生活するためにはどのようにするとよいのだろう？**

関わる 体を清潔に保つために普段行っていることを振り返る。 **自分 友達**

 食べる前に手を洗っているよ。ばい菌が口に入らないようにするためだよ。


関わる 実験を行う。 **自分 友達 教材**

 お風呂で体をきれいにしているよ。さっぱりするから。


気付き  あれっ！さっき洗ったばかりなのに汚れているな。どうやって手を洗えばよいのだろう。


課題 ②体の清潔を保つためには、どのようにするとよいのだろう。


関わる 手の洗い方について考える。 **自分 友達 教材**
グループで協力してどのように手を洗えばよいか考える。

気付き  さっきよりきれいになったよ！しっかり石鹸を泡立てて2回洗うときれいになったよ。それ以外はどうだろう？

関わる **その他に清潔に保つとよいものを考える。** **自分 友達 教材**



 ハンカチや服も洗濯してもらってきれいにしているよ。

課題解決  どうして清潔にすることが大切なのだろう？

 1日過ごすだけで、こんなに汚れてしまうんだね。白くてきれいに見えても毎日替えることが、健康に過ごすためには大切なんだね。

気付き 清潔を保つことで病気を防いだり、気持ちよく生活したりできることに気付き、理解する。


関わる 清潔を保つことについて振り返る。 **自分 友達**






⇒4時間目 問い⇒課題解決⇒気付き

問い **健康に生活するためにはどのようにするとよいのだろう？**

関わる 映像資料 自分の経験から振り返る。 **自分 友達 教材**


 部屋の中に大勢の人がいると息苦しくなってしまうよ。


 閉めきった部屋でストーブをつけていると頭がぼーっとしてしまうことがあるよ。


 教室の明るさも大事じゃないかな。どんな環境がいいのかな？

課題 ③教室を健康に過ごす場所にするために、どうするとよいのだろう。

関わる 資料をもとに身の回りの環境について考える。 **自分 友達 教材**


 教室の明るさはどのくらいがいいのかな？


課題解決  窓は、向かい合うようにあけると空気が入れ替わりやすいらしいよ！

気付き  どうして環境が大切なのだろう？

関わる 身の回りの環境を整えることは健康で気持ちよく過ごすために必要なことに気付き、理解する。

関わる これまでの学習をもとに自分が健康に過ごすためにできる工夫を書く。 **自分 教材**

 ぼくは、健康になるために、外遊びを増やすよ。帰ってきたら、石鹸で手を洗ってハンカチでふくために、ハンカチを忘れないようにするよ。



●手立て1 関わりについて探る

●気付き（課題意識・問いの設定・課題解決）

●手立て2 実感の伴った理解につなげる計画

●子供の思考に寄り添った計画

1 時間目

事前に子供に行ったアンケートをもとに、「単元を貫く問い」「課題設定」を行い、学習の見通しがもてるようにしていった。

右のようなアンケート結果から、「そもそも健康って何だろう」という疑問をもっていることが分かった。

そこで、「健康とは、心も体も調子がよいこと」ということと、「そもそも健康はなぜ大切なのか」ということを教科書の表紙のページで確認した。

新たに子供は、上記の関わりから「健康と捉えていることの違い」や「健康に過ごすためにしていることの違い」から新たに「健康には何が関係しているのだろう」という疑問（課題）をもった。

この課題を解決するために、以下の資料からそれぞれが思う健康に過ごさせている子を探し、そう思う理由を友達と意見交換した。



自分では気付かなかったことに、友達との関わりを通して気付いたり、考えを広げ、深めたりしながら「健康には何が関係しているのだろう」という課題に迫る姿が見られた。

これらのことより、「自分はできているのか」問い返すことで、「健康は生活の仕方が関係していること」「体を清潔に保つこと」「教室の環境を整えること」について、「どうしていくことが良いのか」という疑問が生まれた。このことをもとに「健康に生活するためにはどのようにするとよいのだろう」という単元を貫く問いが生まれ、解決していくこととした。

子供の「疑問を生むための関わり」「疑問（課題）を解決するための関わり」を大切にすることで、子供の思考に寄り添った計画となり、主体的に学習に取り組むきっかけをつくることができた。

生活アンケート①

Q1. 自分は健康に過ごせていると思いますか？

はい 27人	いいえ 4人
<ul style="list-style-type: none"> ・毎日元気いっぱいだから。3 ・いつも朝を別って半熟だから。2 ・外で体を動かして遊んでいる。7 ・水分補給をしている。5 ・お母の人が健康を考えた料理を出してくれるから。 ・好きなものだけを食べていないで、野菜なども食べているから。3 ・朝ご飯を食べているから。 ・体によい食べ物や飲み物を飲んでいるから。 ・給食をおかわりしているから。 ・手洗い、うがいをしているから。 ・風邪をおまわり引かないで休みがないから。 ・時間をきいて、早く寝て、早く起きているから。3 ・けがをしないように室内を歩かないようにしているから。けがをしないで思っているから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・甘い飲み物をたくさん飲んでいるから。 ・廊下や地下校中走ったり、ふざけあってたたき合ったりしているから。 ・早起きしていないで、寝不足になっているから。

Q2. 健康とはどのようなことだとおもいますか？

体の調子がよい	<ul style="list-style-type: none"> ・病気をしない2 ・体調がよくない ・規則正しい生活 ・運動している12 ・たくさん食べて遊ぶ ・しっかりご飯を食べる6 ・朝食を食べる2 ・食卓のバランス7 ・野菜をのこさず食べる2 ・好き嫌いしない5 ・水分補給をすること3 ・甘いものをいっぱい食べない2 ・体に悪いものを食べすぎない ・掃除をしっかりとる ・早起きする8 ・手洗いうがい4 ・けがをした時は保健室に行く ・けがをしないように安全に過ごす ・教室や廊下、室内で歩かない3
心の調子がよい	<ul style="list-style-type: none"> ・友達と元気にしゃべり ・友達にやさしくする

Q3. 健康に過ごすために意識していることはありますか？

ある 17人

ない 4人

1日の生活のしかたと健康	
運動	食事
<ul style="list-style-type: none"> ・外遊びに行っていること 	<ul style="list-style-type: none"> ・体に悪い食べ物を食べ過ぎない。 ・バランスよく食べる。 ・給食で足りない野菜も食べる。 ・ご飯を残さず食べる。 ・えいようある飲み物を飲む。 ・水分補給をしていること。
休養・すいみん	体の清潔
<ul style="list-style-type: none"> ・早起き、早起き 	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗いうがい3 ・手を洗った後は必ず乾かす。 ・ハンカチで口を押えたりする。 ・血が出てきたときは水で洗う。
身の周りのかんぎょうと健康	
明るさ	空気
その他	
<ul style="list-style-type: none"> ・室内で歩かないようにしている。 ・石を見ても、事故をなくす。 	

Q4. 健康は大切なことだと思いますか？

はい 31人

いいえ 0人

- ・熱が出たり風邪を引いたり、感染症にならないようにするため。8
- ・病気になるまで死んでしまうから、命が大切5
- ・健康に生活をしていけば、けがをする確率が減るから。4
- ・安全に元気に過ごせるから。
- ・運動や運動不足になったり、だるかったり、体が弱くなって病気になる。
- ・体調を壊してしまったり、学習が遅れたり、やりたいことができない。
- ・病気になる、自分や友達がつらい思いをするから。
- ・友達にうつっちゃう。
- ・小さい時に元気で遊んでいけば、将来大きくなって体は健康だから。

ぼくは、けんこうのことを、体言用がよければいいと
 思っていたけど、気持ちは友達もよくなきゃいけないこと
 が分かりました。かんきょうをどうしてつければいいかを、
 しらべてみたい。です。
 ぼくは今日の学習で、命のことだけじゃなく
 かんきょうや相対も大切なことだと気づきました。
 次は、どんな生活をおくればいいのかを学習し
 たいです。

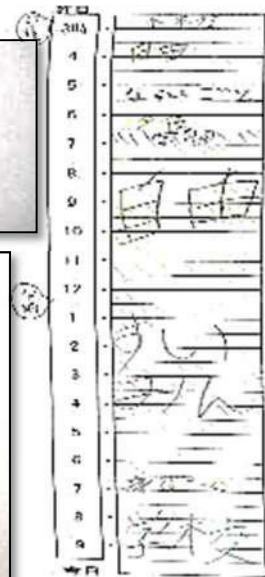
2 時間目

1 時間目にみんなで作った単元を貫く問い「健康に生活するためにはどのようにするとよいのだろう」に迫るために、課題「どんな生活の仕方がよいのだろう」を解決していくことにした。まず、授業を行うにあたり、以下のアンケートを実施した。

すいみん時間	
5時間ぐらい1人	9時間ぐらい11人
6時間ぐらい1人	10時間ぐらい3人
7時間ぐらい4人	11時間ぐらい1人
8時間ぐらい9人	12時間ぐらい1人

朝食	
毎日	20人
たまに	4人
ほとんど食べない	0人

運動時間	0時間	4人
	0~1時間	8人
	1時間~2時間	8人
	2時間~3時間	4人
	3時間~4時間	3人
	4時間~	1人



このアンケートをもとに、友達と話し合ったところ、子供たちの中に「運動、食事、休養・睡眠どれもできているのに、調子が悪い日がある」「ご飯をたくさん食べているけど元気が出ない日がある」などということに気付いた子がいた。そこで、資料から、健康に過ごすための生活の仕方について探ることにした。資料や友達との関わりをもとに「運動、食事、休養・睡眠はそれぞれ関わり合っていて規則正しいリズムのある生活が大切」なことに気付くことができた。ここでまた、新たに「運動、食事、休養・睡眠はどのくらいが適切なのか」という疑問が生まれた。再び、資料や友達との関わりを通して課題を解決していった。

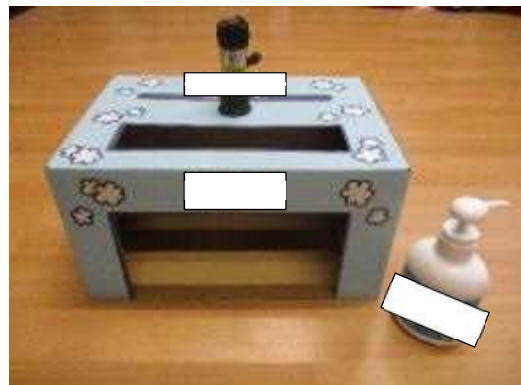
結果として、自分の生活を振り返り、「自分ができること」について考える姿が見られ、課題「どんな生活の仕方がよいのだろう」に対して実感の伴った理解ができたと考える。

ぼくは、きを近くけないから、寝る時間をきめて、
ゲームを1日時間30分を1日1時間にして、おみん
にもっとつかえば、いいと思います。今日まなんだことは、
運動、おみん、食事がつながっていることです。

3 時間目

1 時間目にみんなで作った単元を貫く問い「健康に生活するためにはどのようにするとよいのだろう」に迫るために、課題「体を清潔に保つためには、どのようにすればよいのだろう」を解決していった。

まず、授業を行うにあたって手洗い実験を実施した。5 時間目の授業で、昼休みに子供たちは手を洗って教室へ戻ってきた。そこで、右のようなキッドを使うと汚れが残っていることが分かり、子供たちは「手を洗ったはずなのにどうして」という疑問をもつことにつながった。このことから正しい手の洗い方について友達や資料と関わりながら疑問を解決していった。そこで、新たに「体やハンカチ、洋服の正しい洗い方も知りたい」という疑問をもった。関わりを通して、解決していき、どうして清潔に保つことが健康につながるのか考えるようにした。



なぜ、体を清潔に保つ必要があるのか

体を清潔に保たないと、びろきにびりや
くたてしもうし、体が弱くなるし、体を清
にたもたないし、いりこよけなくて、いりこよけ
 なからでた。

振り返り

手が清けつてきているか、チェックしたら、いつもの手
あらい、知らないことが分かった。しうらいも
 清けつて、たもちたいです。

結果として、自分の生活を振り返り、「自分ができること」について考える姿が見られ、課題「体を清潔に保つためには、どのようにすればよいのだろう」に対し実感の伴った理解ができたと考える。

4 時間目

1 時間目にみんなで作った単元を貫く問い「健康に生活するためにはどのようにするとよいのだろう」に迫るために、課題「教室を健康に過ごす場所にするために、どうするとよいのだろう。」を解決していった。

子供たちは、経験から「明るさや換気などについて適切に保つにはどうすればよいか」疑問をもった。

そこで、動画や資料をもとに疑問に迫っていった。また、なぜそれらのことが健康とつながるのかについても考えていった。

結果として、環境を適切に保つことが大切なことについて実感の伴った理解する姿につながった。そして、単元を貫く問い「健康に生活するためにはどのようにするとよいのだろう」に迫っていった。単元の振り返りについては以下の通りだ。



わたしが自分にいかせることは、2つあります。1つ目は、手をあらうことです。家にお帰ってきたり外であそぶときとかにしっかりと洗う
2つ目は、食事で朝昼よくしっかりとごはんを食べたいです。

そうじをもうちょっとしかんばればきれい
になっし、心と体が元気になる
るので、かんばりたいです。

ぼくはさらに運動をしたいです。
リウマチはさいきん取っまがっているから
です。

• 成果と課題

子供の疑問を中心に、学習を展開することで、子供の意欲を引き出すことにつながり、子供は自然に様々な関りをもち、課題を解決する姿がみられた。子供の思考に寄り添って計画をしていくことで、実感の伴った理解につながったと考える。経験を基に、子供のもっているイメージと現実の「ずれ」をきっかけに、学習を展開していくことは主体的に学習に取り組む手立てとして有効だった。

課題としては、疑問や問い、「課題設定」をするために、「課題解決」をするために、友達、資料、身の回りの環境、自分自身とどのようなタイミングで、どのように関わっていくとよいのか、より子供の思考の流れに沿って計画していく必要があると感じる。ポイントは、「保健は、将来の明るい未来を作り出す学習である」、「なぜその行動が健康とつながるのかを考える」、「自分の体験や生活と結びつける」という視点を教師と子供が意識して学習を進めていけるようにすることと考える。

・手立て3 教師の出番と役割

●ファシリテーターとして ●オープンクエスチョン（思考を揺さぶる言葉かけ）

1 時間目	2 時間目	3 時間目	4 時間目
○課題設定 健康って？ （課題） 健康には何が関係しているのだろうか？	（問い） 健康に生活するためにはどのようにするとよいのだろうか？		
	○課題設定 どんな生活の仕方がよいのだろうか？	○課題設定 体を清潔に保つにはどのようにするとよいのだろうか？	○課題設定 教室を健康に過ごす場所にするために、どうするとよいのだろうか？
<p>・・・回答の範囲を制限せず、自由に考えてこたえられる。 自分の経験や知識をもとに、考える姿勢を大切にしていこう。</p>			
<p>オープンクエスチョン</p>			
○課題設定 健康だと思ふときある？	健康に過ごすために何が大切？		○課題設定 健康だと思ふときある？
○課題設定 どんな時そう感じる？	○課題設定 なんでそれは大切かな？		
○課題設定 普段手をしっかり洗っている？	○課題設定 どうしてそう思ったの？		
○広げる・深めるポイント ・食事 ⇒バランスよく ・運動 ⇒適度に ・睡眠、休養 ⇒適度な ・体の清潔 ⇒保つために ・身の回りの環境 ⇒快適に POINT <u>健康に過ごすために必要なことに気付く、理解する。</u> <u>健康に過ごす良さについて気付く、理解する。</u>	○広げる・深めるポイント ・運動、食事、休養・睡眠 ⇒バランスよく ⇒適度に ※以上の規則正しい生活リズムが大切なことに気付くようにする。 POINT <u>規則正しい生活リズムとはどのようなことなのか気付く、理解する。</u> <u>規則正しい生活リズムを大切にすることが健康とどのように関わっているのか気付く、理解する。</u>	○広げる・深めるポイント ・手の清潔 ⇒手の洗い方 ・それ以外の清潔 ⇒何につながるのか ※以上の清潔が大切なことに気付くようにする。 ⇒快適 POINT <u>体を清潔に保つ方法とはどのようなことなのか気付く、理解する。</u> <u>体を清潔に保つことが健康とどのように関わっているのか気付く、理解する。</u>	○広げる・深めるポイント ・身の回りの環境 ・明るさ・換気 ・掃除 など ⇒快適に ※疲れやすくなったり、風邪をひいたりする原因になることに気付くようにする。 POINT <u>身の回りの環境を整えるとはどのようなことなのか気付く、理解する。</u> <u>身の回りの環境が健康とどのように関わっているのか気付く、理解する。</u>

・成果と課題

子供達が自分の言葉で意見を言い合い、大切なことを整理したり、関わりの中から自分の考え方を広げたり深めたりしていけるように「問い返し」や「言葉かけ」を上記のように工夫していった。このことで、子供の思いに寄り添って学習を深め、実感の伴った理解につながっていったと考える。

課題としては、問い返しのタイミングや内容などを実態に応じて、考えていく必要があることだ。「なぜ、どうして、どのように」など、子供達が自身の経験を基に自分の言葉で言語化できるように、子供の思考に寄り添って、考えを広げ、深めるものになるようにしていく必要がある。

3. 来年度に向けて

子供の「やってみたい」「知りたい」を大切に学習計画を立てていった。まずは、子供が疑問をもつためにどのように資料、友達、自分、身の回りの環境と関わっていくと良いのかを考えた。体験を基に、子供がもっているイメージと現実の「ずれ」から疑問を引き出していったことで、自分たちに合った「問い」や「課題」を立てることにつながった。そして、課題を解決するために、どのようにすれば、望ましい関わりが生まれてくるのかを考えた。

これらのことを通して、自発的に関わりをもつ子供が増え、主体的に学習に取り組む姿が多くみられた。

課題としては、「様々な視点から」という点で、自分の興味関心のあることだけで課題を解決しようとする姿が見られた。「様々な視点から」物事を考えられるように、指導者の役割や出番、特に「問い返しの内容やタイミングについて」検討する必要がある。また、教材や資料など教師が、目的をしっかりともち課題解決のための「基にするもの」を精選する必要がある。

以上のことより、引き続き、成果と課題をもとに、「子供が明るい未来に向かって、楽しく学び、考えていける」学習になるように、来年度の研究につなげていく。